



# 白桜小だより

平成 29年度 5月号  
中野区立白桜小学校  
校長 宇賀神 佳子  
平成 29年4月28日発行

## 「へんしん」

副校長 藤原 留美子

- ・真剣な徒競走、夢中になって応援する保護者等、参加者と観覧者が一体感に包まれていました。
- ・娘は、走ることが得意ではありませんが、一生懸命に走っている姿に感動しました。「かけっこの先生に、速く走るコツを教えてもらった。」と、学校から帰ると、毎日ランニングを欠かさず、最後は私も一緒に走りました。心なしか、軽やかに走れるようになったように思います。

昨年度の運動会実施後のアンケートで、保護者の皆様からいただいたお褒めの言葉です。実は、2～4年生は、運動会前にかけてこの先生に秘密の特訓をしていただいていたいました。担任からも、「子供たちの走りのフォームが良くなった。全身を使って走ることが出来るようになった。」等、かけっこ教室の成果が聞かれたことから、今年度は全学年でかけっこ教室を行うことにしました。低学年は、素早く走り始めることと、真っ直ぐに前を見て走る。中学年は、スタートダッシュを意識し、歩幅や腕の振りを生かしてカーブのあるコースを走る。そして高学年は、フォームや呼吸を意識し、より速く走る。各学年のねらいを達成するためには、どのような技能が必要なのか、走りのプロの方に本物の走りを示して頂きながらの練習です。また、運動会を目指して自身で毎日、どのように練習をすればいいのかも教わります。練習の内容は様々です。その中で、自分の苦手を克服するためのプログラムを選んで取り組むのです。

先日、4年生が道徳「ぼくのへんしん」の学習を行いました。主題は、あきらめない心。苦手意識のあるものや難しいと感じていることに対して、取り組む前から諦めてしまったり弱音をはいたりする人間の弱さにも目を向けつつ、粘り強くやり抜こうとする考えを深めていきました。学習を通して、これまで自分が「へんしん」するために取り組んだ経験を振り返りました。

オリンピックイヤーだった昨年の熱醒めやらず、今年度も子供たちの発達段階に添って、多彩な講師の方をお招きし、本物に触れ合う体験活動や生き方につながる学習を実施していきます。7月の学校公開では、体操日本代表としてオリンピックに出場した選手の方を講師としてお招きして、全学年の子供たちに、目標を持って、それに向かってベストを尽くすご自身の体験を話していただきます。また、各学年では保護者や地域・企業の方から安全安心な町づくりや、職業観・人生観について、また国際交流や文化等の体験活動も交えながら、お話を伺います。

今年度も、子供たちに自分の目標や夢に向かい、自ら学び、自分の考えに基づき、一歩前へ踏み出す「自律する力」を付けさせます。

### 学区編成の説明会について

新井小学校と上高田小学校の統合に伴う白桜小学校の学区編成について、区より行政説明が行われますので、ご都合のつく方はご参加ください。

日時：5月30日（火）17：00～

31日（水）18：00～

場所：本校会議室